

発表日：2016年3月3日

DLE、二階堂ふみ主演「蜜のあわれ」を4月1日公開 室生犀星の幻想文学を実写映画化 金魚と作家と幽霊が織りなす、艶やかで濃密な恋の物語

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太 以下、DLE）は、DLEが共同製作幹事会社として実写化する映画「蜜のあわれ」を4月1日に劇場公開することをお知らせいたします。

【映画「蜜のあわれ」概要】



◆イントロダクション◆

泉鏡花・徳田秋聲と並び、金沢三文豪の一人である室生犀星が、晩年に発表した小説「蜜のあわれ」が、映画化。本作では、室生犀星自身を想起させる老作家と、彼が愛でる少女の姿に変貌する金魚との無邪気かつエロティックな触れ合いを描きます。今回、二階堂ふみが、丸いお尻で自分のことを“あたい”と呼び、金魚から人間の姿に変貌する少女・赤子を熱演。そして、赤子と共に暮らす老作家役に大杉漣、老作家の過去の女である怪しげな幽霊として、三角関係を繰り広げる・女性に真木よう子、室生犀星とは年齢も近く、同時代に活躍した作家・芥川龍之介役には、高良健吾。さらに、すべてを知る金魚売り・辰夫役に永瀬正敏と個性豊かな俳優陣が揃いました。監督は、ジャンルを超越した強烈な世界観で熱狂的な支持を受け精力的に作品を創りつづけている監督・石井岳龍が原作小説に流れる幻想的な文学的世界観を見事表現しました。

◆物語◆

赤子（二階堂ふみ）は、ある時は女（ひと）、ある時は尾鰭をひらひらさせる、真っ赤な金魚。赤子と老作家（大杉漣）は共に暮らし、夜はびたっと身体をくっつけて寝たりもする。

「おじさま、あたいを恋人にして頂戴。短い人生なんだから、楽しいこといっぱいにするべきよ」

「僕もとうとう金魚と寝ることになったかー」

奇妙な会話を繰り広げる2人は、互いに愛を募らせていく。 そんな或る時、老作家への愛を募らせこの世へ蘇った幽霊のゆり子（真木よう子）が現れる。作家の芥川龍之介（高良健吾）、金魚売りのおじちゃん・辰夫（永瀬正敏）が3人の行方を密かに見守る中、ある事件が起きて・・・

■概要

原作：室生犀星「蜜のあわれ」 監督：石井岳龍 脚本：港岳彦

出演：二階堂ふみ 大杉漣 真木よう子／韓英恵 上田耕一 渋川清彦 高良健吾／永瀬正敏

製作：© 2015『蜜のあわれ』製作委員会

共同製作幹事会社：DLE／ファントム・フィルム

4月1日（金）より、新宿バルト9 他にてロードショー

【DLEの実写映画プロデュースの目的】

DLEは唯一無二のCool Japanカンパニーとして、実写映画も含めた様々なメディアに応じた映像コンテンツのプロデュースへと事業領域を拡大していきます。DLEが幹事として製作委員会を組成するほか、映像コンテンツへの出資を積極的に行っていきます。特に実写映画プロデュースでは、下記の3つを大きな柱として考えています。

(1) 地方創生事業との連動「秘密結社 鷹の爪」や「パンパカパンツ」等を通して、DLEがキャラクタービジネスで地方都市との連携事業で培ってきたノウハウ、ネットワークを実写の映像ビジネスへの活用を広げて、地方都市の公共機関や民間企業と連携しながら、映像ビジネスを絡めた地方創生事業として推進していきます。

(2) キャラクタービジネスによる多面的な収益スキーム、DLEの強みである、キャラクタービジネスを取り入れていくことにより、特に実写の映像ビジネスで陥りやすい、映像販売でしか収益を見込めないスキームではなく、多面的な収益モデルを目指します。さらに、キャラクターを実写映画で活用することで従来のアニメファン層よりも幅広い層へのリーチを目指します。また、映画等ではキャラクターの宣伝起用も盛り込むことで、企業広告等、宣伝プランの幅を広げた、映像プロデュースを推進していきます。

(3) コンテンツ大国「日本」に眠る原作、カルチャーを国内外に向けてリプロデュースそのまま映画化してもなかなか現代のユーザーへ届けることが難しいIP（原作等の知的財産）を、現代の人が楽しめるコンテンツとして、DLEがリプロデュースすることで国内外への付加価値を高め、過去作品の再展開を求めているIPホルダーの要望に応じていきます。

■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

IP（著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズへ上場。

アニメ・キャラクター（秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ等）やファッション・ビューティー（東京ガールズコレクション）といった日本が誇れるエンタメコンテンツを包括的に保有する。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp 担当：岡部